

みんなも釣りに行こうよ♪

2023年6月19日
樹脂製造部 業務課 江本和恆

おはようございます。業務課の江本です。
今日は去年から僕も始めた釣りについて話したいと思います。

コロナ禍で3密を回避出来るアウトドアとして、釣りが近年流行っています。
釣りには様々なジャンルがあります。溪流・磯・サーフ・堤防・船・管理釣り場など
そこからターゲット毎に、釣り方が分かれます。大きく分けて、エサと疑似餌(ルアーなど)
今回はその中でも瀬戸内を代表する魚、真鯛について紹介したいと思います。

真鯛を釣る釣り方は色々あります。

- ・タイラバ
- ・一つテンヤ
- ・タイサビキ

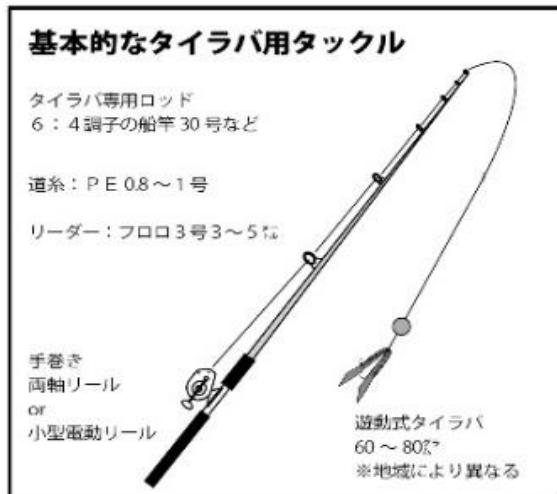
この3つの釣法が有名です。

今回は、タイラバと一つテンヤについて紹介したいと思います。

*タイラバ



タイラバ



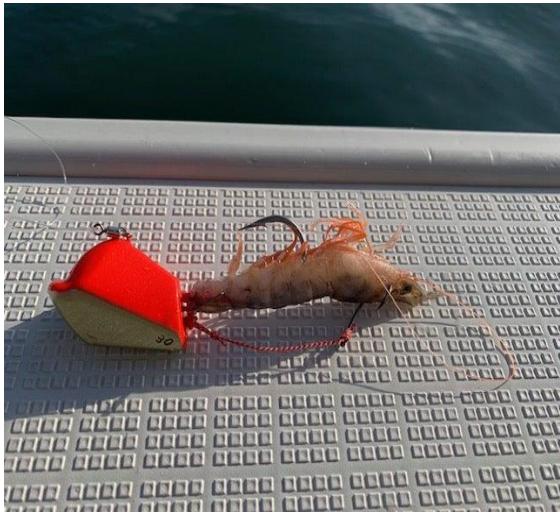
タイラバタックル

釣り方

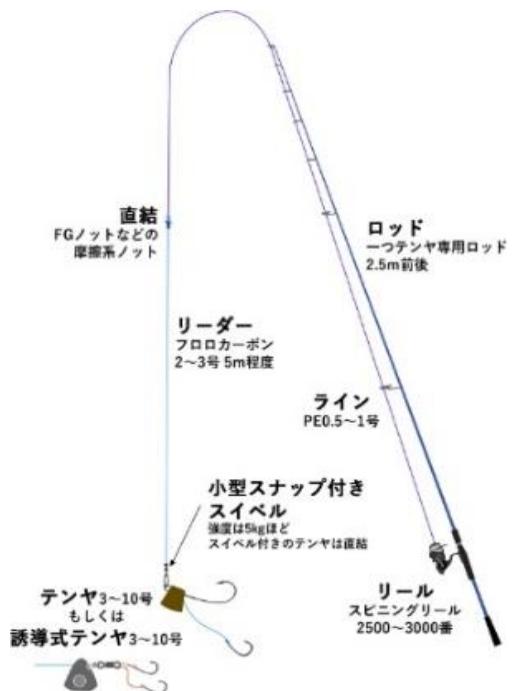
タイラバを海底まで落として、底取りを行いリールのハンドルを約10~15回巻き、
卷いたらタイラバを海底まで落として、同じように10~15回巻きます。
この動作を続けていく釣りです。

比較的に底取りも簡単で、初心者の方にも入りやすい釣りです。
天候や水の色、季節によってタイラバのヘッドやネクタイを選びます。

*一つテンヤ



テンヤ



テンヤタックル

釣り方

テンヤを海底まで落として、底取りを行い、ロッド(竿)を1回～2回シャクってエビが海底で、飛び跳ねている状況を演出します。テンヤも同じ動作を繰り返す釣りです。

注意点は、テンヤにエサのエビを真っすぐセットする事です。
また、エサは関東は冷凍エビ、関西(瀬戸内)は生きエビを使います。

テンヤ釣りの言葉の中に、笠岡スタイルという言葉があります。

笠岡テンヤ=リアクションテンヤ

その為、生きエビは必要条件で、近年タンゲステンを用いたテンヤが増えてきており、潮の流れが速い瀬戸内海で、テンヤ釣法が主となる事が出来ました。

その為、全国的に瀬戸内のテンヤ釣法は有名になり、その中でも福山は、今もっともテンヤ釣法が熱い所で有名です。

テンヤを行う遊漁船も多いです。

瀬戸内は真鯛釣法が人気な所なので、その道具を開発するメーカーも多いです。

- V.I Soul
- Iigurei
- lureto_lab

また、釣具には樹脂めつき品が使われています。



またリールのほぼパーツ全数は、塗装品です。
先月、水呑町の塗装屋さんにS社の方が来たみたいです。

僕が所属する業務課でも、コロナ禍で釣り人口が増えました。
日々の事を忘れて、海を眺めて、ボーと釣りをする。
自分で釣った魚は新鮮で、とても美味しいです。
機会があれば、みなさんも始めてみては？

